

現場
代理人
レポート

令和元年度八代平野農業水利事業 不知火幹線水路(2-1工区)改修工事

工事箇所は熊本県の第二の人口を有する八代市にあり、現場周辺は、八代市及び八代郡氷川町に広がる5,451haの農業地帯で、国道3号線及び九州自動車道八代ICに隣接しています。近年では水稲、い草、トマト、露地野菜等を組み合わせた複合経営が展開され、高い交通利便性に支えられた県内有数の野菜生産地となっています。

本事業では、国営八代平野土地改良事業（昭和39～48年度）で整備され50年が経過し、経年的な施設の劣化が生じた頭首工、導水路及び幹線水路のコンクリート構造物を改修し、農業用水の安定供給及び維持管理の労力軽減を図ることとされています。

工事内容は、用水路延長L=1,300.79m、用水路幅3.65mの水路改修工です。並行する排水路の堆積土除去を先行施工した後、排水路への仮廻し、用水路内の高圧洗浄工、表面被覆工等の施工を進めます。本工事は農業用水を全年通水にて施工するため、事故等による通水不能を回避し営農に支障をきたさないよう十分に配慮いたします。また、事業着手後の最初の工事に当たるため、地域住民とのコミュニケーションを密にしながら工程遵守に努め、国営事業所職員の皆様のご指導を仰ぎながら、無事故・無災害での竣工を目指し、職員一同取り組んでまいります。



監督職員からのエール

本工事は全年通水である不知火幹線水路の改修を行うため、全年通水に対応し、断水期間を3日間と設定した制約条件の中、用水路から仮廻し水路へ切替え、仮締切り作業など適切な工程管理が重要な工事です。また、市道（通行止・迂回路）、民家及び農地に隣接していることから関係者への根回しや工事の段取りなどきめ細かな対応が求められます。

現場代理人の佐保氏及び監理技術者の大隣所長は、着工当初から積極的に地元対応に取り組み「工事開始のお知らせ」のチラシ配布による情報の周知及び戸別あいさつなど地元住民との信頼関係の構築に努め、また、安全管理や品質管理等にリーダーシップを発揮しており、良好な現場が維持されています。更に安全対策協議会の会長を勤め、監督職員とのコミュニケーションも良好であり、迅速かつ的確に処理を進めいただいているところです。引き続き、工程管理、安全管理及び品質管理を徹底され、無事故無災害での工事完成を願っております。

監督職員

(写真左) 九州農政局八代平野農業水利事業所

工事課長 一寶 浩司

現場代理人

(写真右) 梅林建設株式会社

八代作業所 佐保 志朗

